

■開催日時：R3/9

■開催場所：集合での会議は中止、

資料を送付することで運営推進会議の開催に替えました。

■会議構成員：(資料配布先)

- ・デイサービスセンターさくら ご利用者様
- ・デイサービスセンターさくら第二 ご利用者様
- ・デイサービスセンターさくら ご家族様
- ・デイサービスセンターさくら第二 ご家族様
- ・地域住民の代表者 比土おたすけ手伝いの会会長殿
- ・市職員 介護高齢福祉課：ご担当者様
- ・当該事業に知見を有する：地域密着型通所介護サービス事業所運営者様

■議事内容

1、 会議構成員の紹介

2、 運営推進会議の概要説明

3、 事業所運営方針の説明

4、 事業所の特色の説明

開所15周年。10/4に「歩くデイサービス」に変わります。

歩行訓練が出来る！歩くことに特化した「歩くデイサービス」

- ・なぜ歩くことに注目したのか。
- ・歩きたい想いを歩ける喜びに。
- ・特徴1、とにかく歩く機会が多い。
- ・特徴2、難しい機会は使用しない機能訓練です。
- ・特徴3、歩行レベルに合わせたプログラムを用意。
ケアナイト、脳機能訓練は継続。

5、 運営状況の報告

- ・職員体制
- ・利用様の住所別分布
- ・利用者様の介護度分布
- ・月別の利用実績
- ・曜日別早入り、延長利用の利用者様数
- ・月別泊り人数、延べ日数
- ・職員のキャリアアップの取り組み状況

6、 活動内容の報告

- ・行事、その他活動状況（さくら／さくら第二）
 - 藤棚、藤の短冊作り（3月～5月）雑誌「月刊デイ」に制作写真投稿。
 - 七夕飾り作り（6月）
 - 水族館を作ろう（7月）
 - ランプシェイド作り（8月～9月）
 - 誕生日会（4月：1回、5月：5回、6月：3回、7月：5回、
8月：5回、9月：5回）

7、 事故・ヒヤリハット・苦情の報告

特に無し。

8、 その他報告

- ・ 5月連休の対応報告
- ・ 8月のお盆の対応報告。

9、 意見・要望・助言等

「歩くデイサービス」について

Q：歩行訓練は今回初めて？始めたきっかけは？

A：活動の中で機能訓練や運動、体を動かすレクとして歩行訓練は以前から行っていました。

今回歩く事にこだわったのは

＜＜幼稚園と言われるチィチィパッパのデイサービスからの脱却。＞＞

いままで認知症の進行予防に力を入れて来たが、しっかりされておられる方にとっては認知症予防のプログラム（音楽療法や、音読、計算、手指運動、回想療法等）は「幼稚園」と感じられることでしょう。10年ひと昔と言うように当時に比べてデイサービスを利用される方の目的が多様化してきました。

利用率の低下が有り、選ばれないのは利用者様の望む内容ではないから、魅力が無いからと推測。

「幼稚園に行く。」と仰られる位の活動内容。

運動と言っても満足感が無い内容。

「さくら」を利用されていてモリハビリの為に他のデイや通所リハに通われる。

＜＜歩行機能回復に特化した「歩くデイサービス」にリニューアル。＞＞

そんな現状からの脱却として、検討したのが「歩くデイサービス」。

在宅で歩行練習が行える環境にある人は多くはない。

病院や施設・デイケアですらリハビリの時間は短く、

歩く機会を十分に提供されているところは少ない。

身体的な状態のバロメーターとして「歩く事」が分かりやすい。

そこで「デイサービスセンターさくら」は歩くことにこだわって行く事にしました。

なぜなら、ご利用様が歩けるようになる為には、或いは今の歩行状態を維持して行く為には歩く練習を避けては通れないから。

「歩く」と掲げたが、要は座っている時間が長い一日ではなく、ワイワイガヤガヤ、体を動かして一旦休憩、歩いては一旦休憩。「汗を掻いた」「いっぱい歩いた」という満足感、「一歩でも進歩した」という満足感を持ってもらう。100mを10秒で走る事を目指すわけではないし、歩ける状態に無い方を無理に歩かせるものでも有りません。

立ち座りの動作が出来た。その回数が増えた。

足の運びが出来た。数歩歩けた。

平行棒を使っただけの歩行が出来た。

歩行補助用具を使っただけの歩行が出来た。

歩ける距離、時間が延びた。

各々の状態に応じた目標を持って、今の状態から一歩前進を目指す。

（現状維持を目指す、急激な衰えを防止する、でも可。）

いままで培った認知症予防（脳機能訓練）を全く止めてしまう訳では有りません。

それも取り入れながらの活動内容になります。

以前の運動内容程度でちょうど良いと仰る方には、当然その様な運動内容にさせて貰います。

ご本人が満足されておられる訳ですから。各々の状態に応じた対応（目標）になります。

Q：「歩く」を目的に利用を始めた方はいるのでしょうか？

A：「歩くデイサービス」と宣言して間もないので、まだ新規の方は有りません。

以前から「もう少し運動させて欲しい。歩かせて欲しい」という家族様や、利用者様からの

ご要望は有りました。

Q：これまでの利用者も参加されているのでしょうか？

A：今ご利用中の利用者様も一日の過ごし方が変わります。各々の身体状態に応じた目標設定を一生懸命取り組んでおられます。

あくまでご本人の状態に応じた内容、ご本人の満足感が得られる内容になります。

Q：周知はどのようにされましたか？

A：リニューアル2週間前から、今ご利用の利用者様に実際に新しい一日の流れで過ごしてもらい、モニタリング実施。それから正式にご利用者様、ご家族様に「歩くデイサービス」にリニューアルの案内を行いました。

ホームページにも掲載し、情報提供を行いました。

その後、今ご利用の方の担当の居宅介護支援事業所に案内。当面はデイサービスでの一日の過ごし方が変わる程度の認識で構わないと思いますが、新たにご利用される方、或いは居宅サービス計画書更新時期には「歩く」ことに関して計画書の内容への考慮もされるかも知れません。

地域の方にもタウンメールでリニューアルオープンの案内を配布し、情報提供を行いました。

Q：けが等への対応マニュアルはありますか？

A：好き勝手に動いて良いですよ、という事ではなく、しっかりしたプログラムで動きます。

当然、介助や見守りの職員は居りますので、疲れ具合や身体状態の観察は行っています。

怪我をされるような状態にならないようにしておりますが、発生時には「事故対応マニュアル」に則って対応致します。

防災訓練について

Q：実施されていますか？（資料を見落としていたらすみません）

A：運営規定で年1回開催としています。

今回はR2/11/11（水）に「秋季全国火災予防運動に伴う消防訓練」として丸山分署のご指導の元実施。当日は地区の役員の方も参加、ケーブルテレビの取材もありました。

前回の運営推進会議の資料には記載しませんでした。次回から防災訓練の実施状況も載せます。

Q：台風、地震、火災等、各災害に応じた対応マニュアルなどはありますか？

A：消防計画として定めています。

その中の「災害対策」の項、「その他」の項で「東南海・南海地震防災対策」として地震防災規程を定めており、それに則って行動することになっています。